

2026 年 9 月 16 日

**大子町とともに地域課題の解決に取り組む「官民協創プロジェクト」
～大子駅周辺のにぎわい創出に向け、移住促進ガイドブックを作成し発表～**

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と常陽産業研究所（代表取締役社長 大森 範久）（以下、「当行グループ」）は、大子町（町長 高梨 哲彦）と連携して進める「官民協創プロジェクト」のフェーズ1として、常陸大子駅（以下、「大子駅」）周辺のにぎわい創出に向けた「大子駅周辺『にぎわい』づくり 官民協創ワークショップ」を実施し、移住促進ガイドブック「ここから大子ライフ」（全 68 ページ、以下、「ガイドブック」）を作成しました。このたび、大子町役場において成果発表会を開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ワークショップには、2026 年 4 月のキックオフ以降、大子町職員および当行グループ社員で構成する官民合同プロジェクトチーム 10 人が参加し、官民ペアの 5 組に分かれて、町内の事業所や移住者へのインタビュー（計 23 件）を行いました。その内容をもとに、ガイドブックとして取りまとめました。

ガイドブックには、大子町で事業を営む経営者や移住者の思い、取り組みのほか、支援制度や空き物件などの基礎情報を掲載しています。移住や起業を検討する方が、大子町での暮らしや働き方が具体的にイメージできる内容としました。

当行グループは、今回の成果発表会を一つの節目と、フェーズ1で築いた情報基盤と地域ネットワークを活用して、フェーズ2のまちづくりや創業支援など、持続的な取り組みの社会実装につなげてまいります。

記

1. 成果発表会の概要

名 称	大子駅周辺「にぎわい」づくり 官民協創ワークショップ成果発表会
開 催 日 時	2026 年 9 月 15 日（火） 午前 11 時 00 分～11 時 40 分
会 場	大子町役場 行政棟 2 階 大会議室
内 容	プロジェクト概要説明、成果発表、ガイドブック贈呈、講評
参 加 者	大子町、株式会社常陽銀行、株式会社常陽産業研究所



作成したガイドブックを手にするプロジェクトメンバーと関係者



ガイドブック「ここから 大子ライフ」

2. プロジェクトの全体像

本プロジェクトは、大子駅周辺エリアのにぎわい創出に向け、次の2段階で進めています。

(1) フェーズ1

官民合同プロジェクトチームがワークショップを通じて移住促進ガイドブックを作成し、大子町での起業や移住を後押しすることで、駅周辺の活性化に向けた基盤を整備します。

(2) フェーズ2

フェーズ1で構築した基盤を活用し、交流から定住までを一体的に支える持続可能なにぎわい創出の仕組みの社会実装を目指します。



3. フェーズ1：大子駅周辺「にぎわい」づくり 官民協創ワークショップ概要

実 施 目 的	常陸大子駅周辺の空き店舗や更地などを、新たな活用が見込める地域資源と捉え、行政と民間の視点を組み合わせることで、起業・就労を軸とした移住・定住の促進と地域経済の活性化につなげることを目的としています。
内 容	第1回（キックオフワークショップ）：2026年4月17日（金） ・プロジェクト趣旨の共有 ・官民チーム（ペア）の結成 ・起業検討者・就労希望者向けコンテンツの構想 ・インタビュー先（23先）の選定 第2回（成果物制作ワークショップ）：2026年7月8日（水） ・ガイドブックのタイトル検討 ・取材原稿の確認・精査 ・大子町の魅力の整理 ・生活環境・移住環境に関する情報の整理 第3回（最終校正ワークショップ）：2026年8月14日（金） ・ガイドブック（全68ページ）の最終確認・校正 ・配布先と発行部数の検討 （移住フェアや金融機関の店舗網を活用した配布を想定） 成果発表会（町長へのプレゼンテーション）：2026年9月15日（火） ・ガイドブックの贈呈 ・官民合同チームによる成果発表

以 上